

学生会だより

北海道学生会の活動 (北海道学生会)

北海道学生会は、北海道内の大学および工業高等専門学校（旭川工業高等専門学校、北見工業大学、釧路工業高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校、函館工業高等専門学校、北海道工業大学、北海道大学大学院、室蘭工業大学の8校、五十音順）の学生会員で構成されている。ここでは2007年度の北海道学生会の活動について紹介する。

北海道学生会の活動は、広大な北海道に点在する大学と高専の交流であるため、地理的なハンディキャップがあるものの、委員長校である北海道工業大学（学生会担当幹事校）および半期ごとの幹事校（上半期：室蘭工業大学と函館工業高等専門学校、下半期：北見工業大学と釧路工業高等専門学校）が中心となり、運営委員会、上・下半期総会の会合、および全道学生会親睦会事業が実施された。第30回となった全道学生会親睦会は、札幌のJR社員研修センターにおいて8月22日（水）～23日（木）の2日間で開催され各校の親睦を深めた。また8月15～18日に東北支部（八戸、三沢、

十和田、青森）で開催された第45回全国学生会研修会には、北海道学生会委員長校の運営委員と学生会担当幹事が参加し、全国の学生会委員との親睦を深めた。いっぽう、各会員校活動としては、会員拡充行事、交流活動行事、および特別講演会行事が各校により企画・実施された。中でもメカライフの世界展は北海道工業大学（小中高校生向けの金属加工体験）、苫小牧工業高等専門学校（高専祭学科展とともに実施）の両校によって開催された。また3月には室蘭工業大学においてMEA2007展として「Mechanical Engineering Art 2007 -機械研究におけるアート-」が開催された。

学生会活動の総決算として位置づけられる第37回学生員卒業研究発表講演会が、2008年3月8日（土）北海道工業大学を会場として開催された。北海道内の大学、工業高等専門学校の計8校より、合計224件に及ぶ発表があった。午後に行われた北海道工業大学総合教育研究部 小川直久先生による特別講演会（演題「つらの表面安定性機構について」）には、多くの学生会員および教員が参加していた。また発表会後に行われた懇親会は、北海道工業大学内の食堂において盛大に開かれた。同時に優秀なプレゼン

テーションを行った講演者に贈られるベストプレゼンテーションアワードの表彰式が行われ、審査結果が発表されることに大きな盛り上がりを見せていた。

最後に釧路工業高等専門学校機械工学科における学生会の現状および活動状況を紹介する。本校機械工学科の学生は、5年次の4月中旬に卒業研究の配属先を決定する。その時期に合わせて各教員より授業を通して、あるいは配属した卒業研究生に対し、日本機械学会への入会案内が行われる。インセンティブとしては、3月に開催される学生会発表会への参加が主である。釧路から発表会に参加する場合、前泊（場所によっては後泊も必要）を要するため、学生にとって発表会に参加するという事は、ちょっとした卒業旅行に匹敵する。ここ数年はバスを貸し切り、北海道内を団体旅行するのが恒例となっている。また宿泊先で開かれる懇親会（ご苦労さん会）も大きな盛り上がりを見せている。これらの行事は本校機械工学科の学生にとって伝統的行事となりつつある。

〔釧路工業高等専門学校 機械工学科 准教授 麓 耕二〕